

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

## 大豆におけるカメムシ類の防除対策の徹底について

大豆において、カメムシ類の発生が多くなっています。本虫は、大豆の莢や子実を吸汁加害します。このことから、大豆の収量および品質低下を防止するため、下記事項を参考に、莢の伸長初期～子実肥大中期の防除を徹底するよう、生産者への指導をお願いします。

### 記

#### 1. 発生概況および今後の発生予想

1) 8月16～18日に行った大豆の定期調査では、平均発生株率0.6% (平年0.04%) であり、平年より多い(表1)。

2) 大豆を加害する主要なカメムシは以下のとおりであり(写真1)、今回の調査では、ホソヘリカメムシ、アオクサカメムシ、イチモンジカメムシを確認した。

表1 大豆でのカメムシ類の発生状況

	平均発生株率 (%)	
	8月上旬	8月中下旬
本年	1.5	0.6
平年	0.02	0.04



ホソヘリカメムシ



アオクサカメムシ



イチモンジカメムシ



ミナミアオカメムシ

写真1 大豆を加害する主要なカメムシ

3) 九州北部地方の向こう1か月の気象予報(福岡管区気象台8月25日発表)では、気温は平年より高いと予想され、本虫の発生に好適な条件となっている。

#### 2. 防除対策

- 1) 防除適期は莢の伸長初期～子実肥大中期である。発生が多い場合には、7～10日間隔で2～3回防除を行う。薬剤は、莢に十分かかるように散布する。
- 2) 発生状況や生育状況は圃場ごとに大きく異なるため、圃場の状況を確認したうえで、防除対策を講じる。
- 3) 薬剤防除は、ハスモンヨトウなど他の病害虫の発生状況も考慮して実施する。散布の際は周辺環境に十分配慮し、特に、ミツバチ等へ被害を及ぼさないよう注意する。
- 4) 防除対策の詳細については、「佐賀県病害虫防除のてびき」を参照する。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840 - 2205 佐賀市川副町南里1088

TEL (0952)45 - 8153 FAX (0952)45 - 5085

Mail [nougyougi.jutsu@pref.saga.lg.jp](mailto:nougyougi.jutsu@pref.saga.lg.jp)

ホームページアドレス [https://www.pref.saga.lg.jp/ki\\_ji00321899/index.html](https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00321899/index.html)

防除のてびき掲載アドレス [https://www.pref.saga.lg.jp/ki\\_ji00321928/index.html](https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00321928/index.html)

防除セQRコード



てびきQRコード

